

令和2年度 第2回学校運営協議会 記録

市立岐阜商業高等学校

1 名 称 学校運営協議会

2 構 成 委 員 長 竹本 康史 岐阜聖徳学園大学教授
委 員 桐生 伸治 鏡島自治会連合会会長
" 山内 義孝 (株)サムソンフィクセル代表取締役社長
" 田中 雅子 前PTA副会長
" 高井 啓一 西児童センター館長
" 玉田 隆司 PTA会長

<学校側>

副委員長 大坪一才恵 校長
委 員 和田 浩年 事務長
" 井戸 英紀 教頭
" 浅井 智世 教務主任
" 野村 昌史 生徒指導主事
" 杉山 明宏 進路指導主事
" 岩橋 浩二 特別活動部長
" 澤田 幸男 商業科主任
" 寺澤 裕紀 いじめ対策監

3 目 的 保護者や地域住民と目標やビジョンを共有して連携を深め、家庭や地域と一体となって生徒を育む「家庭・地域とともにある学校づくり」を推進する。

4 実施時期 令和3年1月
コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議を取り止め資料説明を行い意見や感想を後日いただいた。

5 資料説明（本年度の学校運営報告等）

- (1) タブレット端末やICT機器を活用した研究授業の機会を設けることで教職員の授業改善への意識向上を図ることができた。
- (2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民講座開催や中国杭州旅游職業学校との交流が実施できなかった。
- (3) 迷惑調査において情報のあった生徒に対して速やかに聞き取りを行い、環境調整を行うことで解決・改善できた。
- (4) 今年度はコロナウイルスの影響により、講習会や講演などが実施できなかったが、薬物や情報モラルについては警視庁の動画の視聴および感想文提出による休校中課題やクラス単位で行う芸術鑑賞として人権映画を視聴することができた。
- (5) 交通事故は昨年度より増加した。(今年11件 昨年10件 +1)
- (6) 就職試験が例年より1か月遅くなり、進学用調査書の様式が変更になるなど、書類作成や生徒の指導にかかる担任の負担が大きかったが、何とか乗り切ることができた。

- (7) 生徒を集めて進路ガイダンスなどが実施できなかったため、情報の共有や意識の向上がうまく図れなかった。
- (8) 新型コロナウイルス感染症対策のため、学校行事や委員会活動がほとんど実施でき
 なかった。密を避ける工夫を凝らしながらできることを考えるきっかけになったので、来年度に活かしていきたい。
- (9) 地域貢献活動、ボランティア活動等ほとんどが中止となった。
- (10) 部活動の大会も中止が多い中、地道な活動を続けることができた。今後もより生徒が目標達成に向けて活動できるような環境づくりをしていきたい。
- (11) オンラインを活用し、外部講師による授業を実施することができた。
- (12) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う休校により、授業時間の減少と検定学習機会の減少により検定試験合格者が減少した。
- (13) 商業の基礎基本となる1年次の学習に差ができています。入学する生徒の現状を見極め、よりきめ細やかな指導が必要である。
- (14) 生徒の12.6%は「外部講師の講演や様々な体験活動等の授業以外の学習の機会が多い」にあてはまらなと感じている。来年度以降、商業の学びの中で、外部講師を活用し、より効果的な学習を行えるようにしていきたい。
- (15) 「市岐商デパート」開催以来、初の通信販売を実施することができた。
- (16) 「市岐商デパート」の開催前後に、新聞・雑誌・テレビ・ラジオ等に出演し学校やデパート開催についてPRすることができた。
- (17) 売場主任を対象に通信販売のスキル向上を図るために、デパート講習会等を実施した結果、購入されたお客様から高い評価を得ることができた。
- (18) 地域の活性化につながる商品を新しく販売品目に加えることができた。
- (19) 通信販売を行ったことにより、遠隔地（県外）の方にも販売することができた。
- (20) 商業教育の発表の場ではあるが、生徒は、すべての商品取引についての知識や技術を習得しているわけではないため、事前に必要な知識や技術を逐次確認をする必要がある。
- (21) 今年度の反省を改善して、次年度に向けて早めの取組をする必要がある。

6 評価・意見・提案・感想等（書面にて提出）

(1) ICTの活用について

- [意見1] タブレットの活用に期待する。学校による環境の差はない方が良い。
- [意見2] タブレット端末やICT機器の活用はコロナウイルス感染症防止対策上、密集等が避けられ大変有効な手段だと思われる。教職員の方も大変だと思うが、推進委員会等で様々検討していただければ良い。
- [意見3] 改善方策案にあるように、研究・研修に尽きると思われる。
- [意見4] タブレット使用についてはスタートしたばかりなので、今後有効な活用ができるよう期待している。
- [意見5] 小中学校や他の高校によっても活用状況が違うと思うので、情報交換を行ってもらうと良い。
- [意見6] 各家庭でも使用環境（Wi-Fi環境等）など問題点はあるかもしれないので、情報共有して対応していただきたい。
- [意見7] ICT教育、普及は必然であるが、いい意味でコロナ禍が加速させたのではないか。まだまだ効果的な活用方法が指導されているかの評価も低いので今後の課題かと思う。子どもたちの順応性は高いので、ご指導よろしくお願

いしたい。

(2) 市岐商デパートについて

- [意見 1] オンラインと実体験のダブルが良い。
- [意見 2] 一昨年、立ち寄らせていただいたが、各コーナー商品等も充実していて大変活気があった。今年度はコロナの影響で、初の通信販売となったが、いつもとは違った経験ができたと思う。この経験を次年度に生かしてほしい。
- [意見 3] 継続するだけでも大変であると思われるが、常に挑戦されている姿は評価できる。
- [意見 4] 今年度はコロナの影響の中でも新しい取り組みが成功して良かった。
- [意見 5] 子どもたちのなかには、例年より一体感が味わえなかったという意見も見受けられた。
- [意見 6] 今後は通信販売と対面販売を両立していけると良いと思う。
- [意見 7] 初めての通信販売。対面販売ができなかったのは残念だが、違った形でデパート経営ができたことで良い経験になったと捉えれば良い。第39回は校内販売ができることを祈る。個人的には自筆で書かれたお礼状に感銘を受けた。

(3) 来年度の学校運営について

- [意見 1] 生徒の考える力を育む為にも先生方のサポートがカギとなる。サポートしすぎないことも必要である。
- [意見 2] キャリアパスポートの運用が始まったばかりで模索状態だと思われるが、将来に向け有効活用できるようになれば良い。
- [意見 3] 到達目標達成のためにチーム市岐商の取り組みをする。
- [意見 4] 来年度もしばらくはコロナの影響があると思う。先生方もいろいろ対応で大変だと思うが、今年度の経験を活かして連携していただき、子どもたちのご指導をお願いしたい。
- [意見 5] 各部長から来年度に向けての改善方策案が出されているので、各々の案のより具体化を図り、進めていけば良い。

(4) 家庭・地域等との連携推進に向けて

- [意見 1] 今年度はコロナの影響で当センターと生徒さんとの交流ができず、残念だった。今後とも読み聞かせ隊、ブラスバンド、卓球指導等でご協力願いたい。
- [意見 2] 信頼関係構築の実践。
- [意見 3] 家庭との情報交換も、やはりコロナの影響で難しかったと思う。
- [意見 4] 市岐商デパートも地域の方を迎えることができず、凧揚げなどの地域行事も中止になってしまい残念だった。来年度はコロナが収束し、いろいろな行事が行えることを願う。
- [意見 5] コロナの関係で予定していた行事がほとんど開催できず、せっかく市岐商の生徒さんが（地域の）手助けを申し出ただけなのに残念である。地域美化運動（論田川清掃）、敬老会でのアトラクション、凧揚げ大会参加・支援等今後もよろしく願いたい。更には、皆さんの挨拶が気持ちよく、地域の安心・安全に一役買っており、笑顔が広がれば明るくなる。

(5) その他、評価・意見・提案・感想等

- [意見1] 母校の発展の為に微力ながら協力したい。
- [意見2] 今年度から委員に加えていただき、また市岐商の運営、地域との連携等大変参考になり、有り難い。
- [意見3] どの部門においても成果があり、努力が窺われる。今後も生徒たちの利益を追求するためによろしくお願ひしたい。
- [意見4] 今年度はすべてにおいてコロナの影響があった。来年度は学校生活や部活動において、今までのやり方と新しいやり方を織り交ぜて躍動の年になるといい。
- [意見5] 学校の施設としては、トイレが少ないという意見がある。
- [意見6] 進路指導において、生徒と担任の先生に対して、もう少し学校全体のサポートが必要かと思う。
- [意見7] ここ数年でいろいろと経験のある先生の異動が多く心配という声もある。
- [意見8] 今後、鏡島という地区をもっと知っていただけるように直近の「広報かがしま（年2回発行）」を渡したい。月2回の回覧物で必要と考えられる物もお届けするようにしたい。